

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています

1 全酪新報12月1日号 全国酪農協会

牛群検定ワンポイントレッスン その18 泌乳持続性

泌乳後期に乳量が急落していませんか？検定成績表を使えば、何故、乳量が落ちてしまったかをいろいろな角度から検証して対策を練ることができます。

2 酪農ジャーナル12月号 酪農学園大学エクステンションセンター

牛群検定だより(第9回) 難産や死産、過肥などの遺伝情報

次世代診断情報が新しくなり、これまでの難産死産にあわせてボディコンディションについての次世代遺伝情報を提供開始しました。難産となりやすい交配は次世代診断情報で回避しましょう。

3 LIAJニュース11月号 (一社)家畜改良事業団

新しい牛群検定成績表について(その33) 牛群改良情報(ゲノミック評価情報)

当団の発行する未経産ゲノミック評価の考え方や活用法について解説！今回から新しくインターネット(繁殖台帳Webシステム)を利用して、スピーディに送付する技術が完成しました。本紙でも紹介しています。

冬本番！丈夫な子牛を育てよう！

(1) 初乳について

子牛の健康管理として「初乳」は最も大事なものです。生後6時間以内に飲めるだけ与えることが肝要です。初乳は子牛に免疫能を与え、下痢や肺炎といった子牛にとって致命傷となる疾病を防御するからです。

(2) 虚弱子牛症候群(WCS: Weak Calf Syndrome)

しかし、最近、子牛が虚弱な状態で出生してしまうような、初乳だけでは解決出来ない子牛特有の病気が注目されています。出生率は5~7%にもおよび生後6週間で約80%が下痢や肺炎を発症し、約25%が死亡するという恐ろしいものです。子牛の特徴として、胸腺が小さく、低体重であることなどがあげられます。

(3) 新しい子牛の健康管理

初乳から得られた血液中の免疫抗体は約4週間程度の効果しかありません。その後は、子牛自らが免疫抗体を生産する必要があるわけです。これを担うのが子牛の頸の下にある「胸腺」です。健康な子牛は、生まれながらに、この胸腺が大きく発育しています。初乳の給与に加えて、胸腺が発達した子牛を生産することが大きなポイントです。胸腺の発達には、分娩60日前の母牛の蛋白充足率が低下しないようにすることが重要です。



左図：胸腺の位置

胸腺は胎齢4カ月で形成されはじめ、次第に大きくなり、出生時には体重の0.4%(約150g)程度となります。生後10~15カ月で最大となり、24カ月齢で完全に退化します。

写真:酪農学園大学 小岩政照教授 提供

(4) 冬の管理

子牛は反芻を行わないため、寒さには大変に弱いものです。ジャケットなどを利用して、保温に務めて下さい。ただし、換気を行わずに保温するのは、アンモニア濃度をあげてしまい、呼吸器系の疾病のもととなってしまいます。換気も十分に行って下さい。しかし、直接風を子牛にあてることは好ましくありません。

検定成績表を、より早く見ることが出来るようになりました！ スマートフォンや携帯電話のメールアドレスを設定しよう！

(1) 繁殖台帳Webシステム

繁殖台帳Webシステムでは、検定成績表、改良情報、次世代診断情報（総合診断、授精結果診断）、ゲノミック評価情報、検定情報サマリーといった主な牛群検定の帳票を、パソコンやスマートフォンで見ることができます。しかし、これまでは新しい帳票が発行になったことをお知らせすることが出来なかったため、「いつ発行になったのか？」を利用者が分からずいました。今回の新機能は、新しい帳票が繁殖台帳Webシステムに掲載されたタイミングで利用者にお知らせするものです。

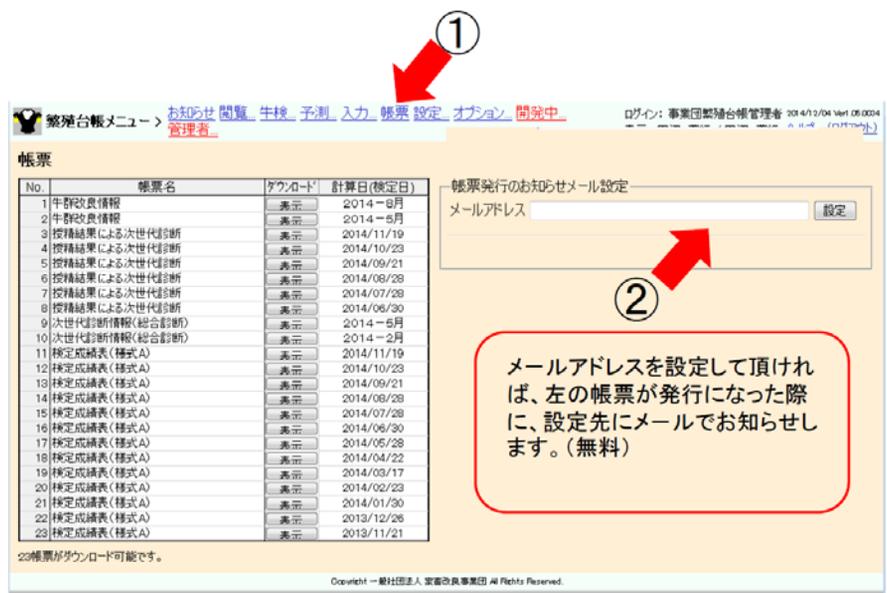
繁殖台帳Webシステム
いつでも日本中どこでも迅速に
牛群検定帳票を見ることができます！



(2) メールアドレスの設定方法

メールアドレスの設定方法は2つあります。どちらで設定して頂いても構いません。

方法1) 繁殖台帳Webシステムの①「帳票」ボタンを押して、右図の画面を表示します。次に、②へメールアドレスを正しく入力設定すれば、次回から新しい帳票が発行される度にお知らせのメールが通知されます。



方法2) よく分からないときは
当団にEメールを次の要領で
送信してください。

Eメール内容

タイトル：繁殖台帳アドレス設定

送信内容：牛群検定農家コード(99-99-999)と農家氏名をメール本文に記入して下さい。

送信先：toiawase@liaj.or.jp

注意) お知らせメールの受信を希望する端末(パソコンやスマートフォンなど)から、メールを送信してください。

ゲノミック評価情報の最新授精情報が変更となりました！

ゲノミック評価情報が明らかになった未経産牛のうち、高能力な牛からは後継牛生産を行ったり、ドナーとして採卵するなど遺伝子を積極的に活用します。これまでの帳票はこういった活用に関する情報が表示されていませんでしたが、今回から交配種雄牛やET情報(採卵など)を掲載して、有効に活用できているか確認できるように改善しました。

牛群改良情報(ゲノミック評価情報)

①牛群内評価	牛コード	名号			生年月日	最新授精		EIT	総合指数				泌乳形質			③体細胞スコア	④体型			高さ	胸の幅	体の深さ	後肢側望	後肢後望				
		個体識別番号	父牛略号	母牛登録番号		年月日	回数		総指数	産乳成分	耐久性	疾病	繁殖	乳量	乳脂質		乳蛋白	乳量	乳器						決定点	蹄の角度	前乳房の付着	後乳房の高さ
10	0804				26.05.23				3219	2489	688	42	1935	52	53	2.12	0.88	1.59	1.70	2.31	1.14	1.39	2.14	-1.26	0.46	0.59	-1.49	0.52
					999999				4	6	21	34	-0.63	3.19	2.70	2.0	28	26	20	-0.63	2.70	3.19	1.33	1.82	0.77	1.35	-1.38	
8	0763				25.05.11	26.11.05	2		2680	2232	437	11	1986	51	47	2.29	0.90	1.14	1.46	2.93	1.69	1.53	2.01	-0.55	0.47	0.31	-1.78	0.85
					999999	999H99			17	13	61	61	2	15	13		26	59	34	0.14	1.49	3.06	-1.63	1.73	-0.81	-0.04	1.65	
	0752				25.05.11	26.06.11	2		583	2007	510	66	1605	54	40	1.99	0.17	1.56	1.30	1.17	0.68	0.67	0.97	-1.06	0.34	0.44	0.52	0.23
					999999	999H99P			21	23	49	17	11	12	28		89	28	46	-0.74	2.37	1.48	0.61	1.72	1.56	1.91	-1.24	
7	0807				26.06.11				2500	1669	774	57	1088	35	36	2.04	0.43	1.81	1.31	0.92	0.21	-0.10	0.85	-0.85	-0.92	1.31	-0.58	0.65
					999999				25	42	12	23	49	45	40		70	13	46	-1.07	2.95	2.14	0.39	2.27	1.32	0.50	-1.73	
	0784				26.01.03				2489	2226	235	28	1522	65	43	2.20	0.15	0.73	0.83	1.09	0.64	0.77	1.13	-0.72	0.74	0.30	0.18	-1.05
					999999				25	13	87	45	16	3	21		90	84	78	1.05	1.68	0.82	-0.08	1.00	0.33	1.21	-0.34	
	0800				26.04.28				2476	2201	266	9	1618	41	49	2.30	0.37	0.76	0.89	1.52	1.37	1.27	0.78	-0.03	-0.44	0.80	-1.07	-0.10
					999999				26	14	83	63	11	32	10		75	82	74	-0.27	0.79	1.53	0.42	0.36	0.80	0.56	-0.40	

交配種雄牛が新しく加わりました。
ゲノミック評価が明らかとなった未経産牛にどんな種雄牛を交配したか確認できるようになりました。